

学生が語る 学科の魅力

VOICE

※年次および取材内容は2018年1月時点のものです。

## 海洋の未来と可能性を多面的な学びで広げる

海洋は、物流や資源など、無限の可能性を持つ一方で、環境保全や安全面で課題を抱えています。本学科は、今後も豊かな海洋を持続できるよう、環境・安全にシフトした学際的な研究・教育を展開。人類共通の諸課題を解決できる人材の育成をめざします。



●幅広い分野で授業が開講されていることに魅力を感じました。そのため、多様な視点を身に付けたいと思っていた自分には合っていると思いました。(3年生 高木)

●他学科に比べて、所属する研究室の幅が広く、様々なことを学べると思い選びました。(3年生 清水)

### 所属学科を選んだ理由は?

●もともと数学が得意だったので、得意分野を活かすことのできる船体運動や流体力学に関係する授業が多くあったからです。(博士課程 前期課程1年生 竹内)

### 所属学科の魅力は?

●海洋の気象や安全について詳しく学ぶことができる点。理系の幅広い分野について学べる点。(4年生 後藤)

●多くの分野を学ぶことができる特徴だと思います。所属する先生方の分野も多岐にわたるので、様々な考え方と視点を吸収することができます。(3年生 高木)

●実際に船に乗ることはできませんが、その分陸上から見た船舶の安全について学ぶことのできる点です。(博士課程 前期課程1年生 竹内)

●海洋のことだけではなく、環境問題やエネルギー問題について世界に目を向けて深く勉強できることです。(4年生 田渕)

●船舶の操縦性や運航の安全性について、実験を用いた研究。(4年生 後藤)  
●ウェザーラーティング。航海における航路、速度を最も適した状態に保つための様々な研究。(博士課程 前期課程1年生 竹内)

### 現在、研究しているテーマは?

●統計学は世の中の様々なところで用いられており、これから必要になるであろう新たな手法を作り出すというところに魅力を感じました。(3年生 高木)

●核融合プラズマ診断のための高エネルギーガンマ線カメラの研究開発。(博士課程 前期課程1年生 吉岡)

●地球環境や大気環境、また気象系に興味があったので迷わず決めました。(4年生 田渕)

●自分が興味のある研究室をまわって決めました。(3年生 清水)  
●シミュレーションや計算だけでなく実験ができる研究室だと聞き、興味を持った。(4年生 後藤)

### 研究室を選んだときのポイントは?

### 研究の楽しさはどこにある?

●興味を持ったことに集中できるところ。(3年生 高木)  
●今はまだ自分ひとりでは出来ないことはかりですが、少しでも解析が進んだときに楽しさを感じます。(4年生 田渕)

●自分の興味のあることをとことん突き詰めていることが、なにより本当に楽しく感じます。(博士課程 前期課程1年生 吉岡)

●自分の研究することを活かせる職業につけたらいいなと思っています。(3年生 清水)

●プラントエンジニアとして日本のエネルギー業界を支えていきたいと考えています。(博士課程 前期課程1年生 吉岡)

●大学、大学院で学んだことを活かして、気象関係の仕事に携わりたいと思ってます。(4年生 田渕)

### 将来の夢は?



海事科学部  
3年生  
高木 康詞



海事科学部  
3年生  
清水万莉子



海事科学部  
4年生  
後藤 鮎夏



海事科学部  
4年生  
田渕 将司



海事科学研究科  
博士課程  
前期課程1年生  
竹内 海智



海事科学研究科  
博士課程  
前期課程1年生  
吉岡 良兼